

## 9 研究活動と研究環境

### 進捗状況報告

【9.1.3】研究成果の公表・発信に対する予算面での問題点は、ほとんど改善がなされていない。年に何度も発表を行い学会出張費が慢性的に不足している教員と学会出張費を残す教員とに同じ額の予算を配分することに対しては、限られた予算の適正な利用法の観点からさらなる議論が必要である。学生の学会での発表数の増加に伴い「産学連絡研究会」から学生への旅費補助金額が以前の半額以下にまで減少している。学生の旅費で不足する部分は研究費により補填されているのが通常であるが、理工学部・理工学研究科から発表される研究成果の大多数は大学院学生や博士研究員との共著によるものであり、発表の多い教員ほど学生の発表件数も多い傾向にあることを考えれば、多くの教員にとってはこれが今後さらに大きな問題となっていくことは確実である。学術雑誌についても毎年の見直し作業を行うなかで重要な雑誌の購読を中止し続けており、もはや危機的状況にあると判断される。過去の雑誌の一部はインターネットで閲覧することが可能であり、検索機能など紙版の雑誌にはない利便性も多いが、現時点では雑誌・出版社によるそれらの状況の差異も大きく、紙版の代わりを十分に果たしているとは言い難い。

【9.1.4】倫理教育に関しては、本学のキリスト主義教育に基づくチャペルアワーや、科学倫理、生命科学倫理、さらには環境学などの多くの科目を通して積極的に取り組まれている。これまで理工学部・理工学研究科の研究活動に対して高い倫理性が維持されているのも、全学・学部を挙げての倫理教育への取り組みと担当者の尽力のたまものである。しかしながら大多数の学生はそれらの講義科目を学部初年時に集中して受講する傾向にある。その結果理工学部・理工学研究科での教育・研究活動により得られる高度な知識や経験を十分に身につける前に倫理教育を終了してしまうという結果になりかねない。これまで以上に高い倫理意識をもつバランスの取れた研究者・高度職業人が要求されている今日、学部・大学院で得た知識・経験を基に一段高い見地から専門的な科学者・技術者としての倫理について学び・考察することは重要である。

【9.2.1】研究成果の英文論文による発表、国際会議での口頭発表は依然活発である。外部資金の導入については、科研費の獲得における若手研究者の活躍、情報科学の感性情報処理分野のCREST1件や物理分野のNEDO1件のような大型プロジェクトの相次ぐ採択、学術研究高度化推進事業（2007年度オープン・リサーチ・センター2件、ハイテク・リサーチ・センター1件の新規採択、他に継続5件）による多数のプロジェクト型の研究センター、等による活発な研究を通して多くのスタッフ・研究員が持続的に健闘している。また研究プロジェクトを中心に多数の博士研究員やリサーチ・アシスタントが研究活動に従事して成果をあげている。このように研究成果、外部資金の獲得、若手研究者の人材育成、のそれぞれについて相応の評価を与えることができる。理工学部・理工学研究科の研究活動は教職員・博士研究員・大学院学生、各々の献身的かつ超人的な努力によって順調に進展を遂げている。学外の研究機関との連携大学院の質的・量的な拡大は客員教員の幅や役割を広げ、教育のみならず研究に対しても新たな進展をもたらしている。その一方で学部教育・入試・その他の教職員にかかる負担は確実に増加しており、恒常的にある程度の時間を研究に集中できるような環境を整備することは困難になっている。このような状況は理工学部における長期留学者の少なさなどにも反映されているが、かかる研究環境の悪化が近い将来研究活動の低落をもたらす可能性がある。

【9.2.2】現在博士研究員の半数以上が外国人であり、研究プロジェクト主催による理工学部での国際シンポジウムもしばしば行われている。教員の国際会議での発表件数にも減少傾向は認められず、海外の研究者との交流も依然活発である。しかしながら、教員の長期留学を促進するような体制作りは進んでおらず、一部の教員にとっては入試関連業務の増加などで夏季休暇中の短期の海外の大学・研究機関への滞在すら困難になっているのも現状である。

### 学内第三者評価

認証評価では「一部の教員を別とすれば、多数の英文による論文発表があり、教員の国際学会への参加、国際共同研究、招待講演での海外出張も年々増加しているため、研究成果の外部発信は全体として良好である」「招へい客員教授や客員研究員の大学院講義や研究活動による成果も着実に増進している」などの点が評価されている。その一方で、進捗状況報告によると、研究成果の公表・発信についての予算の制約が大きいこと、倫理教育の強化の必要性、長期留学の実績が少ないなどの点で専任教員の研究環境の悪化が指摘されており、いずれも今後の課題である。